

きもの 百年物語

「オモイヲツナグ」

家族みんなの想いが詰まったきものを、いつまでも美しく。

そして新しい想い出のシーンを何度でも彩れるように。

三松は、

「きもの百年物語「オモイヲツナグ」をテーマに、

お直し&リメイクをご提案し、きものを愉しむ人たちの

それぞれの想いを

未来へと繋げるお手伝いをしてまいります。

お客様の「満足」を求めて

三松では、6人の専門家がお客様の
お直しのご相談に対応しています。き
ものお手入れはもちろん、サイズのお
直し、染め替え、帯や羽織、道行コート
へのお直しなど、豊富な経験と知識か
らお客様の要望や着用シーンにあわ
せてお手入れし、長くご愛用いただけ
るように心がけています。

作業をするのは、豊富な経験を持つ
職人たち。気になる変色やシミのた
めに染色補正技術を駆使する職人、洗
いの達人、体に沿った着付けをしやす

ように心を砕く和裁士。職人一人一人
が真摯な想いでそれぞれの仕事に取り
組んでいます。

こうしてさまざまな技術と知識を
駆使して、お客様の「きものを着たい」
「きものライフを楽しみたい」という想
いに応えています。



きものお直し診断士
海田二郎

リメイクし 着尽くすのが 母への感謝と想い



川尻京子 様

確かなお直しの 技術に感動

子育てが終わり、母の残してくれたき
ものを着てみようと、筆筒を開けてみま
した。ところが、四十年以上洗わずに仕
舞っていたので、どれもシミだらけ。



道行コートをお召しになった川尻様
～単衣を袷にお直しされた
同系色のおきものをあわせて～

二年前に三松さんでお直しができるこ
とを知りました。絵羽織は刺繍の人形柄
を活かすためにバッグに。また、総絞りの
羽織を染め直し、金糸の入った羽織も染
め直して袖下にハギを入れて道行に。単衣
を袷(あわせ)に仕立て直しもしました。
確かなお直しの技術にすっかり感動して、
もう何枚もお直ししています。

「あなただけ目立ってずるいわよ」 と同窓会で友人に

私は、同窓会やランチ会などに参加す
るとき必ずきものを着ていきます。みん
なから「目立ちすぎてずるいわよ」と言われ
ます。きものは皆さんお持ちなのに自分
で着られないなどの理由で、一步を踏み
出すのはなかなか大変なんです。

その点私は独身時代から、きものが好
きで、よく母ときものを着て歌舞伎を見
に行きました。今も、あまりTPOにこだ
わらず、どこにでも気軽に着ていきます。
着尽くすことが、母への感謝であり、想い
です。

まだ、筆筒には袖帯がたくさん残って
います。どのようにリメイクするかを考
えるのも楽しみのひとつです。

きもの 百年物語



きものお直し ご相談の流れ

- 1 「汚れがある」「サイズが合わない」「八掛が派手すぎる」などメンテナンスが必要なきものや帯をお持ちください。
- 2 お直し診断士が1点1点細かくチェック。保存状態や使用頻度などを確認しながら必要なメンテナンスを診断していきます。
- 3 お直しの内容に応じて、採寸をしたりご希望の加工内容をうかがいます。
- 4 お直し・加工内容が決まったら、費用の見積もりをご提示します。見積もりは無料です。
- 5 見積もりにご納得いただけましたら、品物を再度確認してお預かりします。

きもの
百年物語

VOL.4
FEB.2020
「愉しむ人」



<https://www.mimatsu-kimono.jp/>



<https://www.instagram.com/mimatsu.shara.kimono/>



株式会社 三松

本社160-8334 東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビル2号館14階
<https://www.mimatsu-kimono.jp>

<https://www.rakuten.co.jp/kimonomimatsu>
【画像無断転載禁止】※尚、印刷の都合上、現物と多少色の異なる場合がございますのでご了承ください。
※全ての掲載商品のお取り扱い状況は店舗によって異なります。詳しくは三松・しゃらの各店舗にお問い合わせください。

●お客さま相談室 フリーアクセス 0120-033330
全国どこからでも無料でおかけになれます。お気軽にご利用ください。(受付時間/平日 10:00~18:00)

VOL.4
「愉しむ人」



Remake
羽織

Point
飾りハギがアクセントに

※掲載のきもの、小物類は全てお客様私物です。

道行コート

明るい緑の羽織を渋めの緑に染め替え、道行コートに仕立て直しました。飾りハギの部分は、折り込んである生地を使用したため一体感のある仕上がりになりました。元々あった金糸と刺繍が効果的に映えた素敵な道行コートです。

絵羽織の刺繍を活かしたバッグに

バッグ

お母様の絵羽織にシミがたくさんあったため染め直しをする予定でしたが、美しい人形柄の刺繍を活かすため、あえてバッグにお直ししました。世界で一つだけのバッグに生まれかわりました。

Remake
羽織



Point
美しい刺繍がポイントに

Remake
羽織



Point
絞りの風合いもそのまま

染め直して今の自分に合う色に

羽織

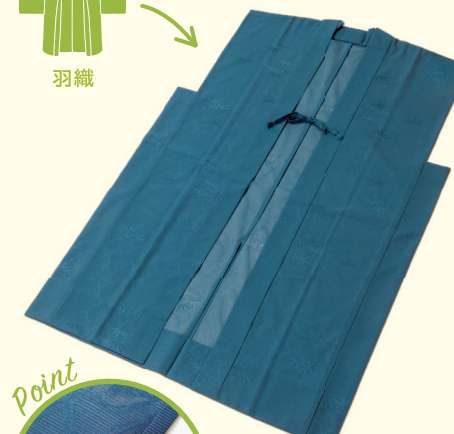
若い頃に着ていた明るいオレンジ色の総絞りの羽織を落ち着いた紫色に染め替えました。絞りの風合いもそのまま生きています。また折り込んであった丈の部分を出して、今風の長めに仕立て直しました。

絹の羽織をオシャレに着回せる陣羽織に

陣羽織

サイズが合わない羽織を陣羽織に仕立て替えました。さばきが良いように背中心にスリットを入れ、袖下もしっかり仕立ててあります。丈も出して長めに仕上げたので、カジュアルに、また夏のオシャレ着として大活躍しそうです。

Remake
羽織



Point
袖下の縫い目はしっかり



Point
見えづらい場所に別布をプラス

現在の体型に合わせてサイズを大きく

夏きもの

透け感のきれいなきもの。身幅を広げるために別の布地をハギ合わせしました。同様に傷みが目立つところにハギを入れました。着用するとまったく目立ちません。自分にピッタリ合ったきものは着付けも楽です。

かたちを変え 受け継いでいく きもの

ご両親が嫁入り道具として誂(あつら)えた訪問着や喪服、ご祖母様が大切に保管されていたきものや帯など、それぞれの想いを大切にしながらお好みのかたちにリメイクをされる方が増えています。今の自分に合わせてリメイクし、オリジナルの着こなしを楽しんでみませんか？

健康者にもこそ知ってもらいたい 車いすでもきものを楽しめたい

「車いすの方にもきものを楽しんでもらいたいです。三松は車いす向けきものお直しサービスをスタート。開発時より数多くのご助言をいただいた車いすユーザーの葦原海様にきものへの想いをうかがいました。

浴衣やきものが好き

小学生の頃からきものが大好きで、よく母に浴衣を着せてもらいお祭りや花火大会に行きました。ひとりでは着られるようになったのは、中学生から。車いすを使うようになってからも12着ほど持っている浴衣は自分で着ています。また、和装が似合う旅先ではレンタルきものを利用します。京都や鎌倉へ行って街の雰囲気合うきものを着て散策。金沢では、グリーンのレトロ柄のきものを選んで観光しました。旅先では、いつもきもの姿の写真を撮ってインスタにアップしています。

きものは着たいが 着付けがたいへん？

私は、車いすを使うようになって、特別支援学校に転校しました。そこでたくさんの方々ができました。なので成人式でみんなと再会できるのを楽しみにしていました。ところが会場に着いてみると、車いすの方は3、4人、ふりそでを着ているのは私だけ、

夢の実現に向け その第一歩がはじまる

私は、さまざまな障害のある方々にファッションを楽しむ喜びを知ってもらいたい。この想いでファッションショーなどに出演しています。今回、三松さんが、車いす用のきものお直しをはじめたことは、とても励みになります。三松さんは、商品数も多く、その中から好きなきものを選びます。また、店舗も各地にありますから身近に利用でき、健康者の目にもとまりやすいです。より多くの人に、このお直しサービスが広まっていくことを期待しています。身体障害者がきもの楽しんでいる姿を普通に見られることが私の大きな夢のひとつ。その第一歩を三松さんが試みてくださり、すごく嬉しいです。

同級生は誰も出席していませんでした。「ふりそでを着たかったけれど、着付けが大変だし絶対無理に決まっている」と最初から諦めていたんですね。私は今まで、きもの着付けをしてくれるお店に予約を入れるときは、担当の方に負担がかからないように「自分で車いすに乗ったまま腰をあげられる、ひとりで浴衣を着られる」などなるべくたくさんできることを伝えていました。でも、やっぱり勇気がいります。もっと簡単に着られるきものがあつたらいいなと思うしていました。

お直しで着やすく 着せやすく



移動時は袖が汚れないようボレロを着用

※車いす用のきものお直しにつきまして詳しくはお近くの三松・しゃら各店舗へお問い合わせください。

葦原海さん用にお直しした

車いす用のふりそで



・袖には長襦袢を着ているように見える工夫がしてあります。
・帯も二部式のつくり帯になっていて苦しくありません。